

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 30年 12 月 25日

事業所名 bonキッズ富田林

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○		月平均4名のスタッフを配置しております	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		この度初めて実施しましたが、1年に1回評価を実施し、業務改善に努めています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		法人内、他事業所の職員のスーパーバイズを受けて、業務改善に努めています。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化されたアセスメントツールではありませんが、評価キット(独自のアセスメントツール)を使用しております。今後は標準化されたものを導入するかどうか検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月季節ごとに新しいプログラムを提供しています	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している				平日のみの営業です
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		子どもの評価に基づいて個別と集団の組み合わせを考えています	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回のモニタリングは必ず行い、それ以外にも子どもの様子や保護者のニーズを踏まえて支援計画の見直しを行っています	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎はありませんが保護者を通じて学校行事などを把握しております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療的なケアを必要としている子どもは現在在籍していません
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		就学前に利用していた保育所等と連携する事例がありませんでしたが、今後必要に応じて他機関と連携してまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している				開設して半年ですので移行支援の必要な子どもがまだいませんが、必要に応じて対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			他機関と連携し、ケースについての助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		障害以外の子どもと活動の機会はありませんでした。今後検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		自立支援協議会等への参加を積極的に進めてまいります
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		平成30年には保護者会を開催できませんでしたが、平成31年2月に保護者会を初めて開催いたします
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			会報は発行しておりませんが掲示物やライン@を活用して色々な行事や活動をお知らせしています
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		月に1回～4回の利用者ばかりですので地域に開かれた行事を開催することはできませんが、地域資源を積極的に利用することで、地域の方に当事業所を知っていただく努力を続けております

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回避難訓練を行い、各事象に応じた訓練を行っております	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		他害が起こった場合に相手の子どもや保護者を守るために手を抑えたりすることはありますが、それ以外の身体拘束は事業所で禁止しております
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		医師の指示書はいただいておりますが、保護者に毎回確認してクッキングなどを行っております	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			